



【学校教育目標】心豊かでたくましく 楽しく学ぶ子供の育成

喜々津東小だより

第19号

令和7年1月9日

校長 中山 美加

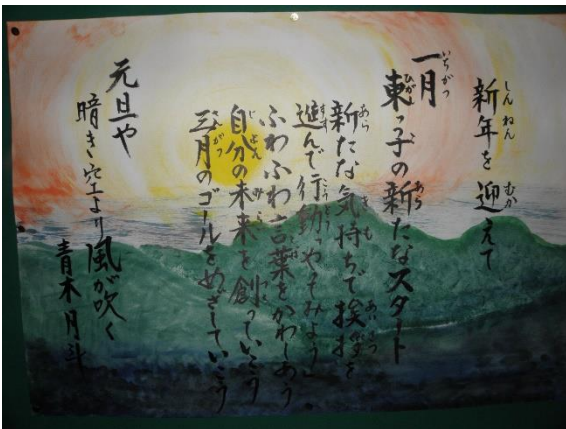
3学期がスタートしました

令和7年もよろしくお願ひいたします



冬休みは楽しくお過ごしでしたか。始業式の日には子供たちが元気に登校してくれてほっとしました。2学期の終業式はインフルエンザの感染拡大予防のため、リモートでの開催を余儀なくされましたが、3学期の始業式は体育館で集合して行いました。体育館の冷たい空気の中にも元気な挨拶を交わし合い、目の前に子供たちの笑顔が広がり、校歌の歌声が響きました。とてもうれしく思いました。

3学期のスタートにあたり、始業式では思いを込めて1枚の絵を紹介しました。



新年を迎えて

一月

東っ子の新たなスタート
新たな気持ちで挨拶を
進んで行動「やってみよう」
ふわふわ言葉をかわしあう
自分の未来を創っていく
三月のゴールをめざしていく

元旦や
暗き空より風が吹く
青木月斗

この絵は校歌にも出てくる「多良岳」の初日の出をイメージして描いたものです。その年の幸福や豊かな実りを司る新年の神様「歳神様」は、この初日の出と共に現れると伝えられています。東っ子の令和7年も幸せで実り多いものとなるようにという願いを込めました。そして、「これからもしっかりあいさつをしよう」「次の学年に向けて進んで行動しよう」「ふわふわ言葉を交わし合おう」と具体的な行動について伝えました。これらは自分の未来を創るにあたり、基盤となる大切な事柄です。冬はまだまだ続きますが、確実に3月のゴールは近づいています。ゴールを目指して喜々津東小全員で頑張ります。

門松づくり ありがとうございました

地域子ども教室の活動で、児童玄関前に門松を地域の方々が作っていただきました。参加した子供たちも頑張りました。東っ子も大きな門松に大喜びでした。皆様、ありがとうございました。

→ミニ門松もできました

